

スポット調査結果の評価別集計

資料1-4(1)

表1. 2011年のランク評価と2018-23年ランク評価(合計得点にもとづく)によって分類されるランク別スポット数(未調査スポットを含む)

2011年ランク	2018-23年合計得点によって修正されたランク					
	A	B	C	ランク外	未調査	総計
A	2	0	0	0	1	3
B	5	13	1	0	6	25
C	2	11(12)	49	9(8)	16	87
D	2	0	2(1)	1(2)	9	14
総計	11	24(25)	52(51)	10	32	129

※()はスポット調査報告書に記載された評価によるもの

表2. 2018-23年に調査されたスポットの保全の現況評価(合計得点にもとづいたランク別)

現況評価区分	2018-23年ランク(合計得点による)				
	A	B	C	ランク外	総計
維持	9	14(15)	12(11)	0	35
おおむね維持	2	8	26	0	36
維持+おおむね維持 集計	11	22(23)	38(37)	0	71
劣化	0	2	10(9)	6(7)	18
変質	0	0	3	1	4
消失	0	0	1(2)	3(2)	4
劣化+変質+消失 集計	0	2	14	10	26
総計	11	24(25)	52(51)	10	97

※()はスポット調査報告書に記載された評価によるもの

表3. 貴重な小生態系(スポット)の全数、2018-2023年の調査数および劣化・消失・変質の要因.

スポットの数	小生態系の種類								合計
	ため池	社寺林	河川	孤立二次林	湿原	放棄水田	岩角地	六甲山地	
全スポット数	59	28	18	11	8	2	2	1	129
調査スポット数(2018-2021年)	55	18	15	1	5	1	2	0	97
維持・おおむね維持と判定されたスポット数	38	14	12	1	4	-	2	-	71
劣化・消失・変質と判定されたスポット数	17	4	3	-	1	1	-	-	26
劣化・消失・変質の要因									
① 開発改変(第1の危機)	1	1	3*	-	0	1*	-	-	6
② 人間活動の縮小(第2の危機)	13*	0	0	-	1	-	-	-	14
③ 外来生物(第3の危機)	3*	0	0	-	0	-	-	-	3
④ 気候変動(第4の危機)	0	0	0	-	0	-	-	-	0
⑤ 野生生物	1*	0	2*	-	0	1*	-	-	4
⑥ その他	1	3	0	-	0	-	-	-	4
①~⑥ 合計	19*	4	5	-	1	2	-	-	31

*ため池 複数の要因が該当するスポットのデータ(No.9の1か所)を含むためスポット数とは一致しない

*河川 複数の要因が該当するスポットのデータ(No.124の1か所)を含むためスポット数とは一致しない。(野生動物は△)

*放棄水田 複数の要因が該当するスポットのデータ(No.103の1か所)を含むためスポット数とは一致しない。(野生動物は△)

表4. スポットごとの現況評価、保全上の課題および求められる対策のまとめ。

現況評価区分	スポットNo.	(要因) 課題の内容	対策
維持 または おおむね維持	6, 7, 11, 13, 14, 15, 16, 19, 21, 23, 26, 31, 32, 34, 40, 44, 54, 55, 56, 59, 60, 82, 133, 125 [ため池]	大きな変化はないなどの記述。	特になし
	43, 53 [湿原]		
	47, 48, 51, 57, 85, 86, 87, 88, 97, 98, 122 [社寺林]		
	52, 116 [岩角地]		
	90, 92, 104, 126, 134 [河川]		
	5, 24, 27, 28, 29, 30, 41, 42, 61 [ため池]	希少種あり。人の手が入っておらず（高齢化含む）、管理不足。	管理への補助（補助金の活用）
	93 [社寺林]		
	22 [ため池]	外来生物の侵入が見られる。	外来種の駆除
	25, 62, 128, 130 [ため池]	希少種あり。外来生物の侵入が見られる。	外来種の駆除
	132 [河川]		
	50, 63, 80 [河川]	希少種あり。	
	89 [河川]	希少種あり。イノシシ、ヌートリア	
	64 [河川]	イノシシ、シカ、アライグマ	
	108 [河川]	自然環境は良好。イノシシ被害。	
	123 [ため池]	景観は落ち着く イノシシ、シカ、アライグマ	
	67 [湿原]	良好な状態	
	99 [社寺林]	良好な状態	
	119 [孤立二次林]	維持されている。	
68 [湿原]	希少種あり。ニホンジカの分布拡大、ナラ枯れの放置あり。	管理への補助（補助金の活用）	
劣化	8 [社寺林]	(その他) カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害。	食害への対応
	9 [ため池]	(管理不足・外来生物・野生生物) ため池としての利用が放棄されている。外来生物の侵入、鹿の食害もあり	管理への補助（補助金の活用）
	12, 35, 39, 129 [ため池]	(管理不足) ため池としての利用が放棄されている。このままではますます劣化。	管理への補助（補助金の活用）
	16 [ため池]	(管理不足) 周辺林の繁茂により日照不足で生物多様性が低下（管理不足）。	管理への補助（補助金の活用）
	20 [社寺林]	(開発改変) 道路拡幅工事によりヒノキ・モミ群落が消滅し点数が下がったが、希少種が残っている。	管理への補助（補助金の活用）
	38 [ため池]	(その他) 土木工事の跡が新しい	特になし
	103 [放置水田]	(開発改変・野生生物) 耕地改善で放置水田がなくなる。イノシシ、シカ（聞き取り）の出現	
	105 [河川]	(開発改変) 河川改修で半分がなくなる。時間とともに復元の見込みあり	
	118 [河川]	(開発改変) 大きく改変され、かつての植物は消失している。	
	121 [ため池]	(外来生物) 外来生物の侵入が見られる。	外来種の駆除
	124 [河川]	(開発改変、野生生物) 希少種確認できず。イノシシ、シカ	
	46 [社寺林]	(その他) 動物・昆虫散見できない。	
	49 [ため池]	(開発改変) 周辺の宅地開発による自然環境の激減	
	100 [社寺林]	(その他) 昆虫を見つけれず。	
	131 [ため池]	(外来生物) 外来生物の侵入が見られる。（希少生物が減少しており、スポットとして適当か将来的に検討を要する。）	外来種の駆除
変質	1, 37 [ため池]	(管理不足) ため池としての機能は失われているが、希少種が見られ保全に値するスポット。	区分を湿地へ変更、管理への補助
	3 [ため池]	(管理不足) ため池としての機能は失われているが、間伐等を行えば湧水湿原として生物多様性の向上が可能。	周辺の間伐等管理への補助
	58 [湿原]	(管理不足) 荒れている。倒木などあり	
消失	2, 4, 36 [ため池]	(管理不足) 消失しており復元は見込めない。	スポットから外す
	33 [ため池]	(管理不足) ため池としては消失しているが、横の池には希少種がある。	スポットの対象を横の池に変更